

## 将監東中学校における登校に不安や悩みがある児童（生徒）・保護者への支援について

(令和6年7月1日 仙台市立将監東中学校長)

将監東中学校では、「不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮すること」を前提に、全校生徒に「社会的な自立に向けた支援」を実施するに当たって、全ての生徒に学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えることを目指し、以下の内容に取り組みます。

- 1 登校することに不安や悩みがある生徒に寄り添い、また、保護者の皆様と協力し、教育相談や学びの継続、校内の居場所づくりに努めるとともに、学校以外の学びの場とも連携し、支援を行います。
- 2 生徒や保護者で不安や悩みを感じている際は、教員（学級担任に限りません）のほか、校長・教頭、養護教諭、スクールカウンセラーなどが相談支援を行います。連絡アプリ（まなびポケット）や連絡帳、お手紙でも構いません。ご希望に応じて、お話のしやすい場所や時間、学校の出席者を調整します。
- 3 相談について、次のような準備をしています。
  - ◆学校で行う生徒との教育相談：毎年7月と11月に予定していますが、それ以外の日でも相談することができますので、いつでもご相談ください。
  - ◆スクールカウンセラー：毎週火曜日に来ています。相談時間の予約が必要です。予約は直接ご連絡（373-7044）しても、学級担任への相談していただくこともできます。
  - ◆教職員の研修：不安や悩みを抱える生徒の理解や相談能力の向上を図っています。また、学校で行うことができる支援策や、学校以外の場での支援内容などの情報をいつでも提供できるよう備えています。
  - ◆教職員間の情報共有：生徒が抱える不安や悩みの状況を関係する教職員間のみで共有し、的確な支援が行えるようにしています。
- 4 支援について、次のような準備をしています。
  - ◆在籍学級以外の居場所：在籍学級に入りにくさを感じている場合の居場所として、個別支援室（1階）を用意しています。個別支援室では空き時間の教員が在室し、自学自習の見守り・学習支援・教職員との交流・担当学年や保護者への連絡などの対応を行います。
  - ◆クロームブックでの学習参加等：学習用端末（クロームブック）や、自宅のパソコンなどを通じて、e-board・Navimaでの自学自習もできます。また、全校や学年、学級のクラスルームを使用して授業の課題に取り組んだり、学活・道徳・行事等に参加したり、その様子を見たりすることができます。
  - ◆ご家庭からの希望があれば、学校外施設の協力を頂いて「児遊の杜・杜のひろばの紹介」や「出張 親の会」「児遊の杜 訪問事業」への依頼・企画を行います。
- 5 生徒が安心して学ぶことができるように、学校外施設とも連携しながら、支援を行います。主な学校外施設は「仙台市教育支援センター」のWebページにまとめてあります。教育支援センターのアドレスは以下のとおりです。  
(「教育支援センター」 <https://sites.google.com/g.sendai-c.ed.jp/jiyu> )

将監東中学校は、これからも、教職員が一丸となって、登校に悩みがある生徒が安心して学べる場所を工夫・提供していきます。ご相談は、将監東中学校職員室（373-6360）までお願いします。